

平成27年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
 コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 関根 純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 戦略・ファイナンス・サプライチェーン担当 (氏名) 北川 徹
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5745-5577

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 103,666 | 9.4 | 11,272 | 22.4 | 11,313 | 22.3 | 6,769 | 27.5 |
| 26年3月期第3四半期 | 94,716 | 8.9 | 9,212 | 16.3 | 9,247 | 15.9 | 5,310 | 20.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 46.94 | 46.90 |
| 26年3月期第3四半期 | 36.86 | 36.78 |

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 79,189 | 51,682 | 65.3 | 357.99 |
| 26年3月期 | 71,537 | 46,777 | 65.4 | 324.50 |

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 51,682百万円 26年3月期 46,777百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | | 0.00 | | 15.00 | 15.00 |
| 27年3月期 | | 0.00 | | | |
| 27年3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当15円00銭の内訳は、普通配当10円00銭及び1,000店舗記念配当5円00銭であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 137,700 | 9.6 | 13,050 | 19.2 | 13,150 | 19.6 | 7,700 | 28.4 | 53.34 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 27年3月期3Q | 144,369,400 株 | 26年3月期 | 144,151,600 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|--|
| 27年3月期3Q | 1,204 株 | 26年3月期 | |
|----------|---------|--------|--|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 27年3月期3Q | 144,225,209 株 | 26年3月期3Q | 144,054,200 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式数は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成26年9月11日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| 4. 補足情報 | 8 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響があったものの、概ね昨年度からの緩やかな景気回復基調が持続いたしました。

しかし、急速な円安に伴う物価上昇等の懸念から、足元の個人消費は回復に弱い動きが見られるなど、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

このような環境の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

商品につきましては「スノーメイプルトフィーラテ」、「スノーメイプルトフィーフラペチーノ®」などの期間限定商品や日本上陸18年目にして初めて全面的にリニューアルした「スターバックスラテ」がご好評をいただきました。

店舗展開につきましては、出店強化を続けるドライブスルー店舗を中心として、47店舗の新規出店(うちライセンス4店舗)、8店舗の退店(うちライセンス1店舗)を行い、当第3四半期累計期間末における店舗数は1,073店舗(うちライセンス51店舗)となりました。

また、既存店舗につきましても、環境の変化に応じた空間作り注力し、活性化や収益性の向上につながるリモデル投資等を継続的に進めました。

以上の活動の結果、売上高は103,666百万円(前年同期比9.4%増)となりました。既存店売上高が前年同期比で3.7%増加したことに加え、継続的な新規出店や「Starbucks Online Store」及び「Starbucks eGift」等の前事業年度からの新たなサービスの展開などにより全体でも増収となりました。

売上総利益は76,996百万円(同9.6%増)と、前年同四半期累計期間に比べて6,766百万円の増益となり、売上総利益率は74.3%(同0.2ポイント増)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料の価格下落による原価率の低下等によるものであります。

営業利益は11,272百万円(同22.4%増)と、前年同四半期累計期間に比べて2,059百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加に加え、継続的な経費コントロールにより販売費及び一般管理費率が63.4%(同1.0ポイント減)となったことによるものであります。

経常利益は11,313百万円(同22.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて2,065百万円の増益、四半期純利益は6,769百万円(同27.5%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,459百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて7,651百万円増加して79,189百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて3,866百万円増加いたしました。これは、主に売掛金が1,749百万円及び譲渡性預金から成る有価証券が2,000百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて3,785百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が2,287百万円、スターバックスカードの預り金残高に対応する金銭信託が600百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて2,746百万円増加いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いに伴う減少があったものの、未払消費税等が1,689百万円、スターバックスカードの預り金等の前受金が1,882百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて901百万円増加し、21,532百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、10,758百万円(前年同期差2,288百万円増)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が1,993百万円増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、7,764百万円(同1,428百万円増)となりました。これは、主に前事業年度は、サポートセンター(本社)移転に伴う旧入居ビルの差入保証金の回収による収入が発生いたしました。が、当事業年度は、新規出店及び既存店の改装に伴い、有形固定資産の取得による支出が485百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、2,092百万円(同963百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき8円(前事業年度におきまして、1株につき100株の割合で株式分割を行ったため、株式分割後の金額を記載しております)から15円へと7円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年9月11日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,131 | 17,032 |
| 売掛金 | 4,329 | 6,078 |
| 有価証券 | 2,500 | 4,500 |
| 商品及び製品 | 754 | 1,268 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,503 | 1,676 |
| その他 | 4,611 | 5,152 |
| 貸倒引当金 | 30 | 42 |
| 流動資産合計 | 31,799 | 35,666 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 10,307 | 12,003 |
| その他(純額) | 6,395 | 6,986 |
| 有形固定資産合計 | 16,702 | 18,990 |
| 無形固定資産 | | |
| | 1,272 | 1,485 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 17,362 | 17,841 |
| その他 | 4,488 | 5,297 |
| 貸倒引当金 | 89 | 92 |
| 投資その他の資産合計 | 21,762 | 23,047 |
| 固定資産合計 | 39,737 | 43,522 |
| 資産合計 | 71,537 | 79,189 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,819 | 3,210 |
| 未払法人税等 | 3,314 | 2,058 |
| 賞与引当金 | - | 859 |
| その他 | 13,782 | 16,195 |
| 流動負債合計 | 19,917 | 22,323 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 26 | 27 |
| 資産除去債務 | 4,651 | 4,972 |
| その他 | 166 | 183 |
| 固定負債合計 | 4,843 | 5,183 |
| 負債合計 | 24,760 | 27,506 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,548 | 8,581 |
| 資本剰余金 | 11,123 | 11,156 |
| 利益剰余金 | 26,876 | 31,484 |
| 自己株式 | - | 1 |
| 株主資本合計 | 46,548 | 51,220 |
| 評価・換算差額等 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 228 | 462 |
| 評価・換算差額等合計 | 228 | 462 |
| 純資産合計 | 46,777 | 51,682 |
| 負債純資産合計 | 71,537 | 79,189 |

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 94,716 | 103,666 |
| 売上原価 | 24,486 | 26,669 |
| 売上総利益 | 70,230 | 76,996 |
| 販売費及び一般管理費 | 61,017 | 65,724 |
| 営業利益 | 9,212 | 11,272 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 19 |
| プリペイドクーポン失効益 | - | 20 |
| その他 | 83 | 53 |
| 営業外収益合計 | 94 | 92 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | - |
| 為替差損 | 28 | 32 |
| その他 | 29 | 19 |
| 営業外費用合計 | 58 | 51 |
| 経常利益 | 9,247 | 11,313 |
| 特別利益 | | |
| 退移店補償金 | 93 | 5 |
| その他 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 94 | 5 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 41 | 65 |
| 固定資産除却損 | 115 | 69 |
| 店舗閉鎖損失 | 63 | 67 |
| 特別損失合計 | 219 | 202 |
| 税引前四半期純利益 | 9,122 | 11,116 |
| 法人税等 | 3,812 | 4,346 |
| 四半期純利益 | 5,310 | 6,769 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 9,122 | 11,116 |
| 減価償却費 | 3,434 | 3,835 |
| 減損損失 | 41 | 65 |
| 引当金の増減額(は減少) | 610 | 875 |
| 受取利息及び受取配当金 | 10 | 19 |
| 支払利息 | 0 | - |
| 固定資産除却損 | 173 | 121 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 815 | 1,749 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 311 | 686 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 116 | 390 |
| その他 | 891 | 2,897 |
| 小計 | 13,252 | 16,847 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10 | 18 |
| 利息の支払額 | 0 | - |
| 発行保証金の金銭信託による増減額(は増加) | 600 | 600 |
| 法人税等の支払額 | 4,191 | 5,507 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,470 | 10,758 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 5,980 | 6,466 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 433 | 608 |
| 資産除去債務の履行による支出 | 160 | 66 |
| 差入保証金の差入による支出 | 743 | 1,027 |
| 差入保証金の回収による収入 | 993 | 407 |
| その他 | 11 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 6,336 | 7,764 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 20 | - |
| 株式の発行による収入 | 38 | 66 |
| 自己株式の取得による支出 | - | 1 |
| 配当金の支払額 | 1,148 | 2,156 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,129 | 2,092 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,004 | 901 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,112 | 20,631 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 18,116 | 21,532 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年1月27日付けの取締役会決議におきまして、平成27年2月20日に臨時株主総会(以下、「本臨時株主総会」といいます。)および当社普通株式の株主による種類株主総会(以下、「本種類株主総会」といいます。)を招集し、本臨時株主総会に 当社において普通株式に加えて、A種種類株式(注)を発行する旨の定款の一部変更を行うことにより、当社を会社法(平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下同じです。)の規定する種類株式発行会社とすること、 当社の発行するすべての普通株式に全部取得条項(会社法第108条第1項第7号に規定する事項についての定めをいいます。以下同じです。)を付す旨の定款の一部変更を行うこと、及び 当社の普通株式(ただし、当社が所有する自己株式を除きます。)の全部の取得と引き換えにA種種類株式を交付することにかかる議案を上程すること、ならびに本種類株主総会に上記 の定款一部変更を上程することを決定いたしました。

上記各議案が承認可決された場合には、当社の株主がスターバックス・コーポレーションの間接的な完全子会社であるSolar Japan Holdings 合同会社(以下、「公開買付者」といいます。)及び公開買付者の完全親会社であるエスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エルのみとなるよう、当社の発行する全ての普通株式に全部取得条項が付されたうえで、すべて(ただし、当社が所有する自己株式を除きます。)が当社に取得されることとなり、当社の株主(ただし、当社を除きます。)には当該取得の対価として当社の全部取得条項付普通株式1株につきA種種類株式が312万6813分の1の割合をもって交付されることとなりますが、当社の株主のうち交付されるべきA種種類株式の数が1株に満たない端数となる株主に対しては、会社法第234条その他の関係法令の定める手続きに従い、当該端数の合計数(合計した数に端数がある場合には当該端数は切捨てられます。)に相当するA種種類株式を当社に売却すること等によって得られる金銭が交付されることとなります。当該端数の合計数に相当するA種種類株式の売却価格については、当該売却の結果、各株主に交付されることになる金銭の額が、公開買付者による、平成26年11月10日から平成26年12月22日までの当社の普通株式ならびに平成17年6月24日開催の当社定時株主総会及び同日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権に対する公開買付けの公開買付価格に当該各株主が所有していた当社普通株式の数を乗じた価格と同一になるよう算定される予定であります。

また、定款の一部変更及び当社による全部取得条項付普通株式の取得の議案が原案どおり承認可決された場合には、当社普通株式は、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める「JASDAQ(スタンダード)市場(以下、「ジャスダック」といいます。))における上場廃止基準に該当することとなりますので、当社普通株式は、平成27年2月20日から平成27年3月22日までの間、整理銘柄に指定された後、平成27年3月23日をもって上場廃止となる予定であります。上場廃止後は、当社普通株式をジャスダックにおいて取引することはできません。

(注)当会社の残余財産を分配するときは、A種種類株式を有する株主(以下、「A種株主」という。)またはA種種類株式の登録株式質権者(以下、「A種登録株式質権者」という。)に対し、普通株式を有する株主(以下、「普通株主」という。)または普通株式の登録株式質権者(以下、「普通登録株式質権者」という。)に先立ち、A種種類株式1株につき1円(以下、「A種残余財産分配額」という。)を支払う。A種株主またはA種登録株式質権者に対してA種残余財産分配額が分配された後、普通株主または普通登録株式質権者に対して残余財産の分配をする場合には、A種株主またはA種登録株式質権者は、A種種類株式1株当たり、普通株式1株当たりの残余財産分配額と同額の残余財産の分配を受ける。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第3四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

| 品目 | 当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) | | |
|---------|--|----------|-----------|
| | 売上高(百万円) | 売上構成比(%) | 前事業年度比(%) |
| 店舗販売 | | | |
| ビバレッジ | 78,722 | 75.9 | 109.6 |
| フード | 15,179 | 14.6 | 110.4 |
| コーヒー豆 | 3,791 | 3.7 | 108.5 |
| コーヒー器具等 | 3,173 | 3.1 | 93.8 |
| 店舗販売計 | 100,867 | 97.3 | 109.1 |
| その他 | 2,798 | 2.7 | 123.3 |
| 合計 | 103,666 | 100.0 | 109.4 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。